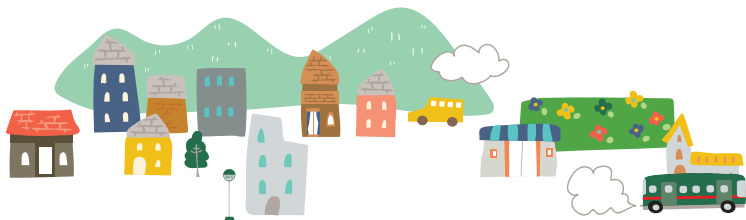


大阪生活サポート協会だより



参加しやすい 「地域密着型」 事業の推進

大阪生活サポート協会 理事長
安本 伊佐子

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2類相当から「5類感染症」に移行されました。2020年から3年間当一般社団法人大阪知的障害児者生活サポート協会（以下、大阪生活サポート協会）におきましては、感染防止対策として会員の皆さまが一堂に会する行事は控えてきました。今年度は11月に「集まれグループホーム」を、来年（令和6年）3月には作品展示会を開催する予定にしております。

さて、大阪生活サポート協会は、会員の皆さまが安全・安心に、豊かにひとりひとりが「自分らしく」生きることのできる環境になることを願い、各種事業と生活サポート総合補償制度を実施しています。各種事業の一つであります「支部活動等助成事業」は、平成22（2010）年度から毎年、支部（施設等）単位での事業実施に対して助成してきました。令和4（2022）年度までの13年間で助成総額3099万4932円になります。

今後の支部活動等に期待することは、地域密着型事業を推進していただきたいことです。誰もが参加しやすい身近な地域で、

① 会員（利用者）参加型事業

② ご家族や支援者等を対象にした事業

③ 地域の法人・施設等の連携・協働事業

などへ積極的に助成したいと考えています。

今、施設入所から地域へということ、地域には多数のグループホームが存在し、重度の方も入居されている状況下、余暇支援の必要性を実感しています。また、令和4（2022）年度から障害者虐待防止のさらなる推進ということで、従業者への研修の実施が義務化されています。グループホームで支援されている方（世話人等）への研修の機会を参加しやすい場所・時間帯に提供できればと願っています。

ちよっと頑張れば実現できることから始めてみましょう！



生活サポート総合補償制度は
大阪府自転車条例、自転車保険加入義務化に対応しています

● 個人賠償責任補償事故例

自転車運転中横から歩いてきた女性に気付かず接触し、女性は骨折し入院しました。治療費、慰謝料含め約50万円の支払いをしました。



保険金請求に関するお問い合わせ先 ————— ジェイアイシーウエスト株式会社 **06-6941-5187**

令和4年度 収支計算書
(令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額
(収入の部)		
①会費収入	23,742,000	23,956,640
②民間助成金収入	0	320,000
③受取利息収入	3,000	1,326
事業活動収入計	23,745,000	24,277,966
(支出の部)		
①事業費支出		
通信運搬費支出	1,500,000	1,282,021
支部活動助成金支出	4,000,000	2,529,768
スポーツフェスタ支出	300,000	300,000
知的障がい児者ソフト大会支出	200,000	188,447
就労・生活支援事業支出	1,700,000	0
研修会支出	300,000	0
広報費支出	900,000	840,645
グループホーム(実態調査に向けての)予備調査支出	350,000	0
補償制度の拡充支出	4,900,000	0
表現活動支援支出	2,000,000	2,151,055
雑支出	20,000	8,899
事業費支出計	16,170,000	7,300,835
②管理費支出		
管理費支出計	13,099,000	11,399,680
③その他の支出		
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
事業活動支出計	29,339,000	18,770,515
事業活動収支差額	△ 5,594,000	5,507,451
(投資活動収入)		
①固定資産売却収入		
運営資金積立預金取崩収入	2,000,000	0
普通預金取崩収入	5,000,000	0
固定資産売却収入計	7,000,000	0
(投資活動支出)		
①固定資産取得支出		
運営資金積立預金取得支出	0	5,000,000
投資活動支出計	0	5,000,000
投資活動収支差額	7,000,000	△ 5,000,000
(予備費支出)		
当期収支差額	1,406,000	—
前期繰越収支差額	0	507,451
前期繰越収支差額	0	25,907,167
次期繰越収支差額	0	26,414,618

令和4年度 「生活サポート総合補償制度」収支

科 目	予 算 額	決 算 額
預かり保険料	188,123,000	190,634,160
保険料	188,123,000	190,634,160

令和5年度 収支予算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
(収入の部)		
①会費収入	23,865,500	
②受取利息収入	3,000	
事業活動収入計	23,868,500	
(支出の部)		
①事業費支出		
通信運搬費支出	1,500,000	
支部活動等助成事業費支出	4,000,000	
スポーツフェスタ支出	300,000	
知的障がい児者ソフト大会支出	200,000	大阪福祉協会との共催事業
就労・生活支援事業支出	1,700,000	集まれグループホーム
研修会支出	300,000	
広報費支出	1,000,000	
グループホーム(実態調査に向けての)予備調査支出	350,000	
表現活動支援支出	2,500,000	作品展示会開催
雑支出	20,000	
事業費支出計	11,870,000	
②管理費支出		
管理費支出計	13,568,000	
③その他の支出		
法人税、住民税及び事業税	70,000	
事業活動支出計	25,508,000	
事業活動収支差額	△ 1,639,500	
④予備費支出		
当期収支差額	△ 1,639,500	
前期繰越収支差額 (令和4年度繰越金の取崩)	1,639,500	
次期繰越収支差額	0	

令和5年度 「生活サポート総合補償制度」予算

科 目	予 算	備 考
預かり保険料	189,874,500	Aプラン:4,330人 中途 50人 Bプラン:4,420人 中途 100人 Cプラン: 710人 中途 50人

令和5 (2023) 年度定時社員総会開催
令和5年6月26日(月)

午後3時15分～4時15分、大阪府社会福祉会館402号室にて開催。

総会は社員全員(12名)が出席。①令和4年度事業報告・決算報告、②令和5年度事業計画並びに予算の承認について審議され、各議案いずれも異議なく満場一致で議決されました。

令和4年度 事業報告

令和4年度は、①会員(本人)支援としては、昨年度に引き続き作品展「わたし RA-SHI-KU2022 大阪生活サポート協会 作品展示会」を開催しました。全応募作品127点を展示すると共に、入賞者の表彰式を執り行いました。②支部活動等助成事業は平成22年度から実施しており、令和4年度まで延べ692支部(施設・事業所)からの助成申請があり、その内343支部に、合計3,099万4,932円を助成してきました。令和4年度は21支部から申請があり、審査のうえ20支部に助成決定を行いました。(総助成額2,252,568円)③スポーツ振興としては「第40回スポーツフェスタ2022大阪」に参画・助成、また「第57回大阪フレンドシップソフトボール大会」では、大阪生活サポート協会理事長賞として参加賞(商品券)を各参加チームに理事長よりお渡ししました。④広報活動としては、機関紙「RA-SHI-KU」第4号本誌・会員(本人)向けを発行。全会員、関係機関等に配布しました。

令和5年度事業について

コロナ感染状況を見極めつつ、会員(本人)参加型の事業及び人材育成としての研修事業の実施を計画しています。令和4・5年度事業として計画している「共同生活援助(グループホーム)の実態把握」を進めていきたいと考えています。またコロナ禍で中止になっていた「集まれグループホーム」を再開します。

引き続き、会員(本人)と家族の生活の安心・安全・安定に資する事業実施に努めてまいります。



RA-SHI-KU (らしく) 第5号 令和5 (2023) 年9月

発行人 安本 伊佐子

発行所 一般社団法人 大阪知的障害児者生活サポート協会
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内
TEL 06-6764-6889 FAX 06-6770-5988
E-mail kyokai@osakasupport.or.jp www.osakasupport.or.jp

編集 安本 伊佐子 榊 皇雄 柴沼 廣 松山 茂美

北岡 仁美 柳澤 正博 中垣 千暁

制作 ハンドレッドラボ(株)

●編集後記●

3月の平均気温が平年+2.75℃(観測史上最高)を記録し、春を感じる間もなく突入した今年の夏。猛暑日が続くなか、外出や屋外での運動を控える一方で、屋内でも熱中症対策としてのクーラーが欠かせず、体調管理にはたいへん苦労しました。「日本の四季がなくなる」なんて言葉も耳にしますが、「○○の秋」ゆつくりと満喫したいものです。(榊)